

集落営農組織アンケート結果における個人情報の漏えいについて

(令和7年12月12日記者発表 (資料配布))

県内の集落営農組織代表者に対し行ったアンケート調査の集計結果について、農業経営課からメール送信したファイルが、個人情報を含むデータが紐づく図が貼付された状態でのWord形式であったため、中継事務所である農林(水産)振興事務所からWord形式で受け取った一部市町において、個人情報が確認できる状態となっていたことが判明しました。

調査の結果、当該市町からの二次漏えいはないため、一般県民への個人情報の漏えいはありませんでした。これまで把握できた事態の経緯と対応について、下記のとおりお知らせします。今後、このような事案が発生しないよう、個人情報の安全確保について一層の徹底を図ってまいります。

記

1 事案の経緯

- (1) 令和7年11月7日、職員がアンケート集計結果（Wordファイル）を各農林(水産)振興事務所に送信。データを受け取った農林(水産)振興事務所は管内市町に転送。
- (2) 令和7年12月8日、職員がアンケート調査結果（Wordファイル）を再確認中に、貼付した図のデータ編集を行った場合に個人情報が視認できる状態であることに気付き、発覚。
- (3) 令和7年12月8日～10日、農業経営課から、送信先である各農林(水産)振興事務所にデータの削除依頼および転送先（市町）への送信状況、市町からのデータの流出の有無を調査した結果、大半の事務所ではPDF化の処理後に転送していたため、個人情報が紐づいたWordファイルを受け取った市町は5市町（神戸市、豊岡市、養父市、朝来市、香美町）のみ。5市町から外部への流出はなかったことを確認。

2 漏洩した個人情報

県内の集落営農組織代表者である氏名、住所、電話番号、年齢（600名）

3 対象者への対応

速やかに事実説明と謝罪を実施します

4 再発防止策

今後このような事態が再び発生しないよう、個人情報の適切な取り扱いを徹底するとともにメール送信時のチェックリストを作成し、データ送信の際には不要なデータの削除を確認した上で、Word形式ではなくPDF化を徹底し情報漏えいを防止します。